



# 図書館通信

最上校図書委員会  
No.23 2月4日

今年度も沢山の生徒が図書館を利用してくれました。  
人気図書ランキングと校内多読賞を発表します。  
来年度も沢山の利用と、図書委員会・図書館企画  
に参加、よろしくお祈いします。

## 年間人気図書ランキング



順位	書名	著者名	貸出数
1	私の幸せな結婚	顎木あくみ	10
2	昔話法廷	Eテレ	7
3	赤毛のアン	モンゴメリ	5
3	スマホに届いた怖い話	藤白圭	5
5	正欲	朝井リョウ	4
5	毒舌訳哲学者の言葉	有吉弘行	4
6	推し、燃ゆ	宇佐見りん	3
6	小説8050	林真理子	3
6	エレジーは流れない	三浦しをん	3
6	琥珀の夏	辻村深月	3



### 個人賞

順位	学年	出席番号	名前	冊数
1位	1年	6番	菅 花織	63冊
2位	1年	1番	安達 花怜	49冊
3位	3年	8番	吉田 愛海	45冊
4位	2年	12番	今田 春雅	38冊
4位	1年	11番	鈴木 權	38冊
6位	1年	9番	齊藤 雄斗	37冊
7位	2年	19番	山本 悠斗	35冊
8位	3年	4番	笠原 那月	24冊
8位	2年	15番	沼澤 龍樹	24冊
10位	3年	7番	森下 大和	19冊
10位	2年	16番	能登ももな	19冊

## クラス賞

順位	学年	冊数	一人平均冊数
1位	1学年	262冊	17.4冊
2位	3学年	94冊	11.7冊
3位	2学年	195冊	10.2冊

生徒貸出冊数 合計 551冊 一人平均 13.1冊

(令和3年4月8日~令和4年1月31日までの統計です)

※3年生は、3月2日に1・2年生は3月23日に表彰します。

※来年度も、多数の図書館利用をお待ちしております。



## 2月図書館企画 バレンタイン特集

ワクワク・ドキドキ・アオハル+ミステリ本！！

「無駄に幸せになるのをやめてこたつでアイス食べますか」 コイル著



一緒に泣いてくれる友達がいるから、明日も大丈夫。  
お仕事女子×停滞中主婦の人生を変える二人暮らし。  
自分サイズのハッピーストーリー。

「君を、死んでも忘れない」 青海野灰著



君は僕を残していなくなる。僕は君を残していなくなる。記憶の日数が  
ゼロになった時。もうすぐ死ぬのは彼女ではなく自分だった？

「犯人は僕だけが知っていた」 松村涼哉著



クラスメイトが消えた。壊れかけた世界でおきる、謎の  
連続失踪事件。四人目の失踪者が死体で発見されたこと  
で、事態は急変する。僕らは誰かに狙われているのか？

「君と過ごした透明な時間」 丸井とまと著



あの日、わたしは《幽霊》と恋をした。切なさ120%の青春恋物語。  
挫折ばかりな高校生・中村朱莉は、熱心に絵に打ち込む同級生・染谷  
壮吾に憧れていた。染谷が階段から落ち意識不明の重体で発見される。  
ちょっと不思議な二人の透明な一ヶ月が始まる。

「僕がきみと出合って恋する確率」 吉月生著



君と出会えた奇跡を、永遠に忘れない。たとえ君が人殺しだとしても。  
君は私の運命の人です。夏、いのりは殺人事件を起こして、久遠の前から  
姿を消してしまう。切なすぎる衝撃のラストに、号泣  
必至の純愛ラブストーリー。

「砂時計のくれた恋する時間」 扇風機周著



この恋の終わりと君とのサヨナラは同じ日だった。

好きになって距離が狭まるほどに死が近付く二人の恋。その恋の果て  
に、思いがけない未来が待っていた

「私の幸せな結婚 1～5巻」 顎木あくみ著

この嫁入りは黄泉への誘いか、奇跡の幸運か？

ただ居場所が欲しいんじゃない。旦那さまのそばだけがいい。

旦那さまのご両親に、はじめてのご挨拶。

旦那さまの元婚約者候補、現る。

旦那さまを想う、この気持ちは……。



「恋空」 美嘉著

著者“美嘉”の実体験をもとにした小説。

恋愛、友情、家族などさまざまな事件を通じて  
美嘉が成長していく過程がつつられる。

「今夜、きみの涙は僕の瞬く星になる」 比見えこ著

クラスメイトの佐々原くんは、いつもスマホをいじっ

ている。噂では、誰かにメッセージを送っているらしい。四六時中。  
そのせいで、クラスの女子のあいだではささやかれるようになった。  
佐々原くんは鬼ラインをするタイプの、地雷男子なのだ。

「君と眠らないまま夢を見る」 遠野海人著

高校生になった智成の日常は少し変わっている。死者が見えるのだ。  
吹奏楽をやめ、早朝バイトをする智成は、夜明けには消えてしまう

彼らとの、この静かな時間が好きだった。

「ぼくらが死神に祈る日」 川崎七音著

教会跡地の神様って知ってる？ 大切なものを差し出  
して祈るの。神様の正体は、人の寿命を対価に願いを  
叶える死神だった。



※ぜひ、図書館へ